

ID No.	120
研究課題名	臍帯血移植のグラフト生着における液性・細胞性免疫の役割に関する解析
研究代表者	高橋 美乃子（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター・製剤一部長）
研究組織 受入教員 研究分担者	高橋 聡 （東京大学医科学研究所・准教授） 柏瀬 貢一 （日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター・検査三課長）
研究報告書	
検討を開始してから平成 24 年 11 月 21 日までに、計 41 例の患者について 99 件の抗 HLA 抗体の有無と特異性の同定を行った。 1. 移植前に検査を行った41例のうち16例（39%）で抗HLA抗体が陽性（クラスIのみ陽性6例、クラスIIのみ陽性4例、クラスI、II共に陽性6例）であった。 このうち、26例で同種移植（臍帯血移植23例、骨髄移植3例）を行った。臍帯血移植施行例の中の5例（22%）が抗HLA抗体陽性で対応抗原を避けた臍帯血ユニットを用いて移植を行ったが、そのうちの1例で生着不全を起こした。抗HLA抗体陰性18例では全例で臍帯血グラフトの生着が得られた。骨髄移植の3例ともに抗HLA抗体は陽性であったが、全例で生着している。 2. 移植前後で測定した結果、移植前に抗HLA抗体陰性18例のうち、移植後に陰性が維持されたものは14例、陽性となったものは3例、転帰不明1名で、移植前の抗体陽性8例のうち移植後に陰性となったものは1例で、4例では陽性が持続し、転帰不明が3名であった。	